



2019

3



広報ちぶ

VOL.212

小さな数
大きなファミリー
知夫里数

Contents

- 2~3... 知夫里島初「知夫未来子ども議会」
- 4..... 議会だより・議員、議会の活動日誌
- 5..... 知夫村小中学校 第70回全縣駅駅伝競走大会
- 6~7... 知夫村高齢者生活福祉センター 一掃福苑の日常ー
車椅子の贈呈
- 8..... 知夫村役場
産業建設課 島根県知事表彰
財務課(財政) 知夫村一般会計の基金について
古谷水産 島根広告賞受賞
新規職員紹介
- 9..... 教育委員会～島留学生の子どもたち～
- 10..... 成年後見制度ってなに?
- 11..... POLICE通信・隠岐汽船・放送大学
- 12..... しまね企業ガイドランス開催のお知らせ・戸籍コーナー

CHIBU



知夫小中学校 第70回全縣駅駅伝競走大会

今年度、知夫小中学校はふるさと教育の9年間の内容について見直しをしました。小学部1・2年生を「入門期」、3・4年生を「前期」、小学部5年生から中学部1年生までを「中期」、中学部2・3年生を「後期」と位置づけ、それぞれの時期に子どもがどのように地域と交流し、のびのびな力を発揮できるのかを検討しました。今回、知夫里島初の「知夫未来子ども議会」も議会は、中学部2年生の取り組みであり、「後期」の位置づけです。後期のふるさと教育のテーマは、「地域の大人と協働し、知夫のたもりに行動する」です。中学2年生の子ども達が、地域をどのように想い、どのような提案をしたのか紹介します。



平木村員



提案①
高家志子 議員

「知夫の資源を活用した肥料作りについて」

知夫で昔から肥料として使われてきた、牛糞、カネ糞、竹を活用し、知夫の資源を利用した肥料を作ることを提案する。この肥料作りが実現すれば、牛糞の方やカネの生産者の方や野菜生産者の方が喜ぶのではないかと、そして雇用の創出や、知夫の地域資源の有効活用・資源の循環により知夫の自然を誇りままで守っていくことができるのではないかと、素明らしい提案だと思っ、しや。

この事業を進めるためには、畜産農家や若手生産者からの理解・協力を得ることが必要不可欠。いずれにしても、村としては、環境にやさしい村づくり・地域資源の活用・資源の循環・雇用の場の確保・野菜生産者農家への下支え等の観点から、検討する価値は十分にあると考え。

提案②
「知夫の観光について」



提案③
「子ども遊び場について」

今、知夫の観光に必要なものは、わくわく感であり、知夫に観光用のキャンピングカーを導入することを提案する。キャンピングカー

の導入に加え、季節ごとの観光ガイドもつくりに残る観光づくりもすすめる。観光ガイドには、知夫の人々との交流も盛り込み、観光客に「あの人にまた会いたい」という想いを残してもらってほしい。

知夫村の子どもたちがより楽しく生活できるよう、「遊び場」をつくることを提案する。休日の図書館を日曜日も開放し、キッズスペースを設けてはどうか。また、仁夫里公園や保育所移転後の確保所にも遊具を設置し、学校以外の場所でも遊べるようにする。小さい子供たちが遊べる場



提案④
原方依佳 議員

「子ども遊び場について」

「わくわく感のある観光、印象に残る観光」「住民とふれあい、村民も村を誇りに思う観光」であるべきだとも考え方は、共通感を覚える。村は、昨年11月「グランピング・モーターラー」を試験的に開催している。自然体験を提供する点では、グランピングと同様キャンピングカーも有効であると考え。可能な限り取り入れる方向で、担当課において検討を進めさせた。

図書館や仁夫里公園の活用、確保所跡地の再利用等、検討する価値は十分にある。遊具や公園の設置については、移転後の確保所跡地の再利用や拡充付近の長浜地区に2020年度完成予定の公園への遊具等の設置を検討している。他に、子ども遊具場というものは、他に与えられた遊具等で遊ばせていく、遊びを自分で見つけて、考えて、つくるといった行動も大切で



ある。遊びは人間が成長するうえで大きな力を持っているということも考慮しながら検討していきたい。



提案⑤
吉田瑞 議員

「農産物産出について」

都会を離れ知夫里島にやってきました高留学生は、都会ではできない体験をし、知夫里島を存分に楽しめるよう、島留生に「島農制度」をつくることを提案する。島農制度があれば、島留生

生だけでなく島農（島の人）にも多くのメリットがある。島留生の中一貫教育を支える会の皆さんや知夫教育力化プロジェクトメンバーを島農の対象に、まずは始めて見てほしい。

の少子高齢化対策のために知夫版子ども議会を提案する。島留生が島に帰ってくるようなものになるように考える。対象を小学1年生から4年生のお子さん連れの家族とし、「親と暮らしている」という安心感をもつて、知夫での生活を満喫してもらいたい。住宅不足については、シェアハウスを造り提供するアイデアはどうか。

この度、知夫村役場・議会事務局の皆様にご協力いただき、知夫村初の「知夫未来子ども議会」を開催することができました。来年度以降もこの取り組みが続き、知夫村の子ども達が知夫村に貢献できることを真剣に考えたり、それを支える大人が村の在り方を子ども達と一緒に語り合えたりできるのではないかと考えています。今後とも、知夫小中学校へのご支援・ご協力をお願いいたします。



議長 高田 隆
副議長 高田 直樹

「知夫版親子島農制度」

現在の島留生制度に加え、村



島本校員



12月定例議会概要

一般質問 〔横川正議員〕

Q 認知症を患った人が快適な生活を維持し、家族や介護者の負担が軽くなるような施策の必要性について



「認知症を患った人が快適な生活を維持し、家族や介護者の負担が軽くなるような施策の必要性について」

村長 先ず、「認知症」に対する認識と、現在行われている



「認知症対策について」でございますが、ある統計によりますと、日本国内において、2025年には、認知症患者は約700万人を超えるという推計が、出されております。これは、65歳以上の高齢者の中で5人に1人が該当するという数字に及びます。認知症を患った方は、介護のこと、その方々を支える家族・介護者の負担を考えると、重大な問題であるというには、私も重々認識しております。次に、「認知症対策について」

でございますが、現在、本村では、認知症予防という点について、重点的に取り組まれていると伺っております。例を挙げますと、各地区での高齢者サロン等での啓発活動、看護職による個別訪問や相談事業、看視職による個別訪問や相談事業、看護会を主催しております。

他にも、「認知症初期集中支援チーム」を設けて、認知症患者とその家族とを医療・介護につなげるためのよう、関係者間で定例会議を開催したり、緊急時等を要する支援に必要な、判断の情報を交換する場などを、緊密かつ頻りに開催し、連携を図られていると伺います。

しかしながら、本村の高齢化は、ご承知のとおり、45%を超えていることから、今後は予防だけではなく、実践の必要性に迫られているのが、現状でございます。

「長く住み続けた」の島で、出来るだけ自立して生活したい」「出来るだけ長く、自宅で過ごしたい」など、ご本人の希望が叶えられることが、「自立期間が延長する」ということから、様々な調査や取り組みの必要性が生じていることを、痛感していると思っております。

ご承知のとおり、去る、10月20日に島根県立大学との間に締結いたしました「包括連携協定」の中で、島根県立大学の看護学科の研究テーマに「地域在住高齢者の社会活動参加の種類と、認知症発症との関連性」や「一極島高齢者の認知機能と隠れ心

不全の関連」(身体機能の低下予防のためのエクササイズ)といった項目や、栄養学科による「健康・食生活相談を気軽に」(栄養アドバイザー)等といった項目が盛り込まれております。

他にも、島根県立大学からの情報提供を致しまして、見守りシステムの導入、サテライト型の訪問看護、本人の希望に沿える実現可能な人生振り返りノート(エンディングノート)管理システムの構築などがございまして、何れに致しましても、認知症は、避けては通れない問題であると捉えております。

村に致しましては、島根県立大学をはじめとした関係諸団体等と連携を密にし、協議を重ね、認知症患者はもとより、ご家族や現実に介護をされる方々の負担が少しでも軽減できるような施策を模索して参りたいと思っております。

一般質問 〔並河孝成議員〕

Q 隠岐汽船フェリー新乗り場の問題について



村長 二質問にお答えする前に、一言申し添えさせていただきます。



「二質問にお答えする前に、一言申し添えさせていただきます。」

議員もご承知のとおり、来居港は島根県の管理港でございます。従いまして、本件のギンタウライ設置工事は、島根県工事として実施したものであります。従いまして、今回の回答につきましては、島根県に聞き取りを行い、確認できたものを、お答えさせていただきますので、ご了解いただければと思っております。

先ず、1点目の「新設備の不調の原因は何か」という点については、来居港のギンタウライは、竣工してから1年を経過しており、原因の確定には至っておりませんが、「おそらく、原因の一つとして挙げられるのは、港内の潮位変動が想定以上に激しく、機器が対応できなかつたのでは」と考えられる」という事でございます。次に、2点目の「回復に向けての今後の見通しと時期について」でございますが、「何時まで」という事は断言できませんが、今後、潮位が低くなる冬の状況も確認して、なるべく早く対応して行きたい」という事でございます。

村に致しましては、この問題が充覚して以来、隠岐支庁心機・経営局・島前事業部への申し入れは勿論、島根県土木部長等に対し、要望活動を重ねております。

最後に、今後予定されている「県庁新築工事」等においても、こうした問題が起らないと限らないので、完成後のメンテナンス・保証等を含めた体制づくりが必要ではないかという点でございますが、抑々れをとり、限られた予算の中での執行であり、

村民の皆様方・ひびは国民の税金を活用させていただき、実施する事業でございます。

議員、議会の活動日誌

- 10月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 関西観光会
 - 全議員研修
 - 知夫教育魅力化MTG
 - 知夫小中委員会
 - 島前字地博体験
- 11月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 全国隠岐市町村議長大会
 - 協働のまちづくり事業教育発表
 - 知夫サマヒモ、ひと、しごと創生 総合推進委員会
 - しまれ越越び
 - 島前字地博体験
 - 知夫教育魅力化MTG
- 12月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 定例会(12月議案)
 - 隠岐はびこ会 役員会
 - 知夫教育魅力化MTG
 - 島前字地博委員会
- 1月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 知夫教育魅力化MTG
 - 隠岐はびこ会 役員会
 - 島前字地博委員会
- 2月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 隠岐はびこ会 役員会
 - 島前字地博委員会
 - 隠岐広域連合全員協議会
 - 竹屋の日記念式典
 - 知夫サマヒモ講演会



優勝

知夫小中学校 第70回全隠岐駅伝競走大会

平成30年11月11日(日)晴天の中、「隠岐70回全隠岐駅伝競走大会」が隠岐の島町で開催されました。今回より新しいコース(スタート:空港ふれあい公園、ゴール:隠岐の島町総合体育館)になり、全27チーム、総勢162名のランナーたちが競い合い、その中で中学校選抜の部で隠岐優勝を飾ることができました!港には「思いをつないだ港!優勝おめでとう!」の横断幕を持って選手たちを向かい入れる保護者の熱い姿がありました。

区間	選手氏名(学年)	距離	タイム	区間順位
1区	吉田 陽 (2)	2.54km	08分38秒	2位
2区	中筋 友梨 (3)	2.51km	09分15秒	1位 区間賞
3区	古谷 有己 (2)	3.23km	11分34秒	2位
4区	奥本 菜瑠海 (1)	2.74km	10分20秒	1位 区間賞
5区	■■■■ (2)	2.72km	10分38秒	2位
6区	上仲 七海日 (3)	2.03km	08分19秒	1位 区間賞



2018.11.11 隠岐の島町





天気の良い日は、ドライブに出かけたりします。サマーボランティアで中学生と交流。日々、友達や職員の方と楽しく。



招福苑の日常

知夫村高齢者生活福祉センター



山陰本部
山陰合同銀行浦郷支店長
門脇 順様より贈呈

贈呈台数 1台
贈呈者 「小さい親切」運動

贈呈日時 2018年10月31日(水)10時30分
贈呈先 社会福祉法人 知夫村社会福祉協議会
会長 平木 茂樹様

記

「小さい親切」運動山陰本部
(代表 久保田一郎) は思いやりにあふれる温かい地域社会づくりに貢献することを目的に、1999年より山陰両県の福祉施設等へ車椅子を贈呈する活動を行っており、今回は左記の日程で知夫村社会福祉協議会へ贈呈されました。



贈呈
「小さい親切」運動山陰本部
2018年10月

車椅子の贈呈について



教育委員会

～島留学の子どもたち～

【2年目が終わり、そして3年目へ。】

平成30年度も残りわずか、知夫里島島留学も2年目が終わり、3年目を迎えようとしています。今年度は6人の子どもたちが島外から知夫里島にやってきて、はぐくみ寮から、知夫小中学校へと通っています。もうすぐ3月になり、ここを卒業する子も、ここに残る子もいます。

一年の月日は、本当にあっという間です。折角の機会ですので、下半期の振り返りをお伝えします。



9月には村民体育祭が行われ、今年も懸念されていた雨予報をひっくり返し、晴天の中、実施されました。

10月には、ソフトテニス部の新人戦も行われ、ある生徒たちは優勝という成績を収めることができました。

11月に入ると、どっさり祭りや、蛇巻きなど、知夫村の伝統的な催しに参加をしたり、出店をしたりしました。

12月になり、調理員さんを迎えたクリスマス会や、寮

の大掃除を行いました。

そして、新年を迎えました。こうやって振り返ってみても、それぞれの季節に色とりどりのイベントがあって、生徒たちは充実して知夫生活を送れているように思います。来年度には、いよいよ3年目を迎えます。地域の皆様には、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



知夫村役場

産業建設課

長年にわたり知夫村の畜産に、和牛生産リーダーとして活躍、そして畜産婦人部長として貢献してこられました。また赤ハゲ山の野大根の復活にも尽力を注がれたことが認められこのたび島根県知事表彰を授与されました。



仁夫地区 小西梅子 さん

【総務課】

知夫村一般会計の

基金について

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う村の貯金を基金といいます。

	H30年3月末現在高
財政調整基金	336
減価基金	315
その他特定目的基金	136

(百万円)

古谷水産の知夫の岩牡蠣「姫宮」が第43回島根広告賞(複合部門)金賞と消費者特別賞でダブル受賞されました!

2018年に島根県内で発表された新聞・雑誌、テレビコマーシャル、パンフレットなどの8部門に応募のあった計158点の広告作品の中から、古谷水産の作品が複合部門で金賞、また消費者特別賞の2つが受賞となりました。2月20日から25日まで、島根県立美術館で展示されました。



●野田 淳子 さん
(勤務先・知夫診療所)



●[顔] さん
(勤務先・教育委員会 給食センター)



新規職員紹介

このたび知夫村に仲間入りしたみなさんです。どうぞ、宜しくお願いいたします。

「しまね企業ガイダンス」開催のお知らせ

- ① **イベント内容** 就職活動を始める方必見！
島根の企業が勢ぞろいし、企業紹介を行います。

【イベント名】しまね企業ガイダンス

◆松江会場

日時／3月4日(月)10:30~17:00
会場／くにびきメッセ(松江市)

◆浜田会場

日時／3月20日(水)13:00~17:00
会場／県立石見武道館(浜田市)

内容／・企業紹介マイクリレー(1分間企業PR)
・合同企業説明会



※各会場とも前日に、
自分の魅力を企業に
伝える「学生のドラフト！
～ご縁オファー～」開催

※詳細は「ジョブカフェしまね」サイトをご覧ください。

②対象者

- ・2020年3月大学(院含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校等の卒業予定者
- ・未就職卒業者(既卒3年以内)
- ・県内就職を希望する方

③参加企業

2月上旬から「ジョブカフェしまね」のサイトに掲載します。
<https://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>

④問い合わせ先

ジョブカフェしまね
(公益財団法人ふるさと島根定住財団)
電話 0120-67-4510



金一封 いただきました。
ありがとうございました。

「広報郵送料の御礼」
大前 薫(島根県)
増田 マツ子(山口県)
道脇 弘俊(広島県)
小新 好輝(静岡県)
安田 勇作(千葉県)
関西知夫会
東京知夫里会

やさらかに
心からおくやみ申し上げます
数 スミ子(95)
雄治(64)

おすこやかに
お誕生おめでとうございます

矢田 紗活 郡
保母者 父 涼一
奥本 丈海 郡
保母者 父 重雄
藤木 斗雅 多賀
保母者 父 太雅

おめでとうございます

ご結婚
おめでとうございます

川本 泉生 仁夫
中野 理子 山口県
斉藤 伸之 郡
山岡 弘子 広島
余島 純 古海
向井 睦美 古海



●村の人口(平成31年3月1日現在) 人口/640人(男:328人 女:312人) 世帯数/365世帯 65歳以上人口比率/45%

発行/知夫村 〒684-0102 鳥取県知夫村1065番地 TEL08514-8-2211 FAX08514-8-2093 <http://www.will.chibu.lg.jp>